

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 12 月 3 日 (2015.12.3)

【公表番号】特表 2014-532643 (P2014-532643A)

【公表日】平成 26 年 12 月 8 日 (2014.12.8)

【年通号数】公開・登録公報 2014-067

【出願番号】特願 2014-538819 (P2014-538819)

【国際特許分類】

C 07 D 473/06 (2006.01)

A 61 K 31/522 (2006.01)

A 61 P 9/00 (2006.01)

A 61 P 9/10 (2006.01)

A 61 P 25/28 (2006.01)

A 61 P 25/16 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 3/10 (2006.01)

【F I】

C 07 D 473/06

A 61 K 31/522

A 61 P 9/00

A 61 P 9/10

A 61 P 25/28

A 61 P 25/16

A 61 P 25/00

A 61 P 3/10

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 10 月 9 日 (2015.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

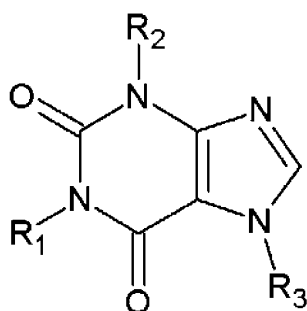
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式

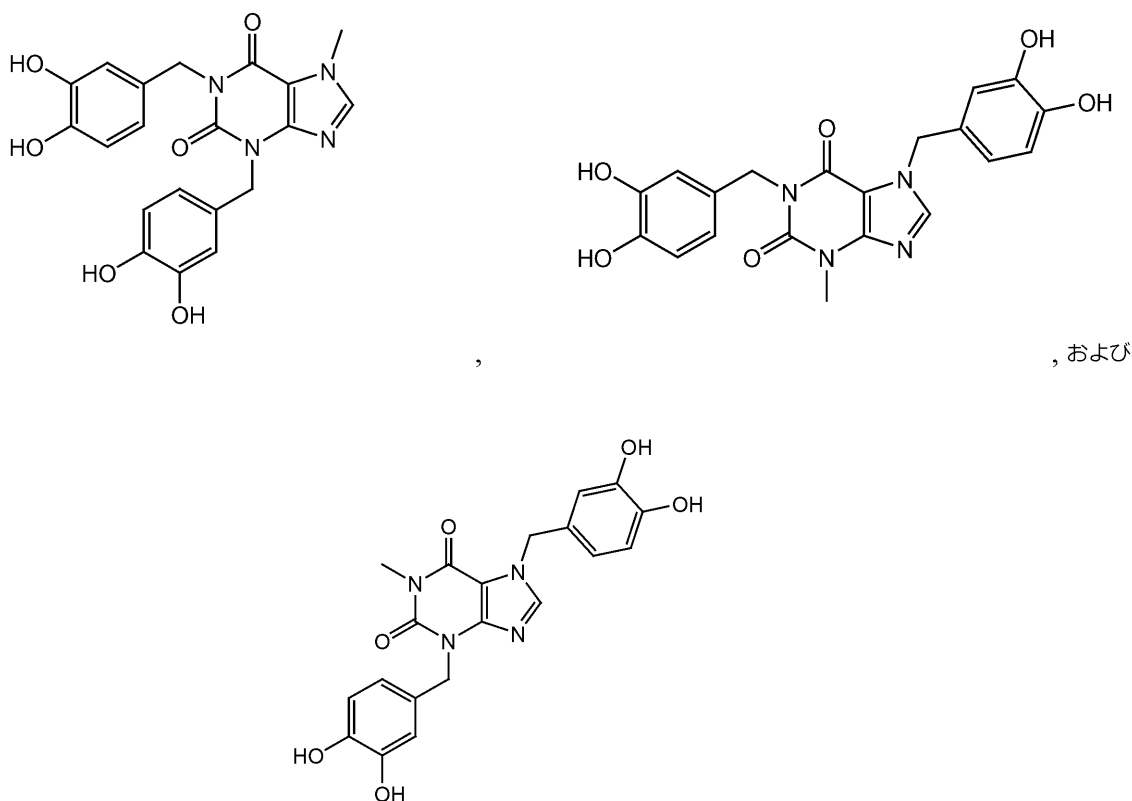


式中、 R_1 、 R_2 、 R_3 は独立して、水素、メチル、およびベンジル基で置換されており、 R_1 、 R_2 、 R_3 の少なくとも 2 つは、常に置換されたベンジルであり、かつ前記ベンジル基は 2 つの水酸基で置換されている化合物からなる群から選択されることを特徴とする化合物ならびに

その薬学的に許容される塩。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の化合物において、



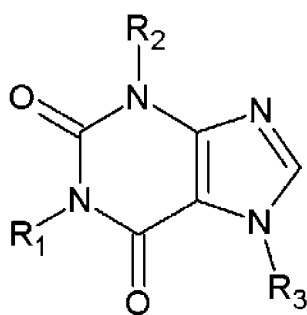
からなる群から選択されることを特徴とする化合物。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の化合物および薬学的に許容される賦形剤を含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 4】

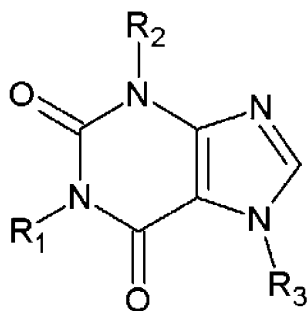
式



式中、 R_1 、 R_2 、 R_3 は独立して、水素、メチル、およびベンジル基で置換されており、 R_1 、 R_2 、 R_3 の少なくとも2つは、常に置換されたベンジルであり、かつ前記ベンジル基は2つの水酸基で置換されており、アミロイド又は α -シヌクレイン原繊維の形成、堆積、蓄積、あるいは持続性の処理に用いられる、化合物からなる群から選択されることを特徴とする化合物ならびにその薬学的に許容される塩。

【請求項 5】

式



式中、 R_1 、 R_2 、 R_3 は独立して、水素、メチル、およびベンジル基で置換されており、 R_1 、 R_2 、 R_3 の少なくとも2つは、常に置換されたベンジルであり、かつ前記ベンジル基は2つの水酸基で置換されており、アミロイド病、又はシヌクレイノパチーを患っている哺乳類のこれらの疾病の治療に用いられる、化合物からなる群から選択されることを特徴とする化合物ならびにその薬学的に許容される塩。

【請求項6】

請求項5に記載の化合物の使用において、前記アミロイド病が、アルツハイマー病、I型糖尿病、全身性AAアミロイドーシス、ダウン症候群、オランダ型アミロイドーシスを伴う遺伝性脳出血、および大脳 - アミロイド血管障害からなる疾患の群から選択されることを特徴とする使用。

【請求項7】

請求項5に記載の化合物の使用において、前記アミロイド病がアルツハイマー病であることを特徴とする使用。

【請求項8】

請求項5に記載の化合物の使用において、前記シヌクレイノパチーが、パーキンソン病、家族性パーキンソン病、レビー小体病、レビー小体変異型のアルツハイマー病、レビー小体型認知症、多系統萎縮症、およびグアムのパーキンソン認知症症候群からなる群から選択されることを特徴とする使用。

【請求項9】

請求項5に記載の化合物の使用において、前記シヌクレイノパチーがパーキンソン病であることを特徴とする使用。

【請求項10】

請求項5に記載の使用において、投与される前記化合物が、 $0.1 \text{ mg/kg/day} \sim 1000 \text{ mg/kg/day}$ の量であることを特徴とする使用。

【請求項11】

請求項5に記載の使用において、前記化合物が、 $1 \text{ mg/kg/day} \sim 100 \text{ mg/kg/day}$ の量で投与されることを特徴とする使用。

【請求項12】

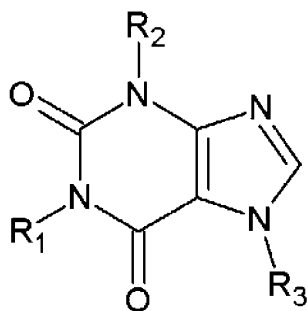
請求項5に記載の使用において、投与される化合物の量が、 $10 \text{ mg/kg/day} \sim 1000 \text{ mg/kg/day}$ の量であることを特徴とする使用。

【請求項13】

包装材料、包装材料内に含有され、 - アミロイド又は - シヌクレインの原繊維および/又は凝集物の形成、堆積、蓄積、あるいは持続性の処理のために使用される、請求項1に記載の化合物又はその薬学的に許容される塩、ならびに化合物又はその薬学的に許容される塩が - アミロイド又は - シヌクレインの原繊維および/又は凝集物の形成、堆積、蓄積、あるいは持続性の処理のために使用されることを表示するラベルを含むことを特徴とする製品。

【請求項14】

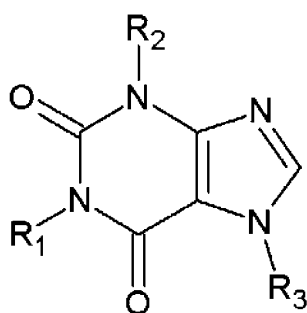
式



式中、 R_1 、 R_2 、 R_3 は独立して、水素、メチル、およびベンジル基で置換されており、 R_1 、 R_2 、 R_3 の少なくとも2つは、常に置換されたベンジルであり、かつ前記ベンジル基は2つの水酸基で置換されている化合物からなる群から選択されることを特徴とする化合物ならびにその薬学的に許容される塩の、アミロイド又は β -シヌクレイン原繊維の形成、堆積、蓄積、あるいは持続性の処理用薬剤の製造における使用。

【請求項15】

式



式中、 R_1 、 R_2 、 R_3 は独立して、水素、メチル、およびベンジル基で置換されており、 R_1 、 R_2 、 R_3 の少なくとも2つは、常に置換されたベンジルであり、かつ前記ベンジル基は2つの水酸基で置換されている化合物からなる群から選択されることを特徴とする化合物ならびにその薬学的に許容される塩の、アミロイド病又はシヌクレイノパチーを患っている哺乳類におけるこれらの疾病の治療用薬剤の製造における使用。

【請求項16】

請求項15に記載の化合物の使用において、前記アミロイド病が、アルツハイマー病、I型糖尿病、全身性AAアミロイドーシス、ダウン症候群、オランダ型アミロイドーシスを伴う遺伝性脳出血、および大脳 β -アミロイド血管障害からなる疾患の群から選択されることを特徴とする使用。

【請求項17】

請求項15に記載の化合物の使用において、前記アミロイド病がアルツハイマー病であることを特徴とする使用。

【請求項18】

請求項15に記載の化合物の使用において、前記シヌクレイノパチーが、パーキンソン病、家族性パーキンソン病、レビー小体病、レビー小体変異型のアルツハイマー病、レビー小体型認知症、多系統萎縮症、およびグアムのパーキンソン認知症症候群からなる群から選択されることを特徴とする使用。

【請求項19】

請求項15に記載の化合物の使用において、前記シヌクレイノパチーがパーキンソン病であることを特徴とする使用。

【請求項20】

請求項15に記載の使用において、投与される前記化合物が、 0.1 mg/kg/day ~

1 0 0 0 m g / k g / 日の量であることを特徴とする使用。

【請求項 2 1】

請求項 1 5 に記載の使用において、前記化合物が、1 m g / k g / 日 ~ 1 0 0 m g / k g / 日の量で投与されることを特徴とする使用。

【請求項 2 2】

請求項 1 5 に記載の使用において、投与される化合物の量が、1 0 m g / k g / 日 ~ 1 0 0 m g / k g / 日の量であることを特徴とする使用。